

世界中のお取引先を支える
「ものづくり」パートナーへ



第一実業株式会社
DAIICHI JITSUGYO CO., LTD.
東証一部:8059

1. 会社概要

2. 事業展開

3. 業績

1. 会社概要

商号

第一実業株式会社
DAIICHI JITSUGYO CO., LTD.

設立

1948年(昭和23年)8月12日

株式上場

東証一部(コード:8059)

代表者

代表取締役社長 山片康司

本社所在地

東京都千代田区二番町11番19号

資本金

51億500万円

売上高

1,282億円(2013年3月期実績)

事業内容

産業機械のトータルサプライヤー

従業員数

単体:416名 連結:1,043名 (2013年3月31日現在)

グループ会社

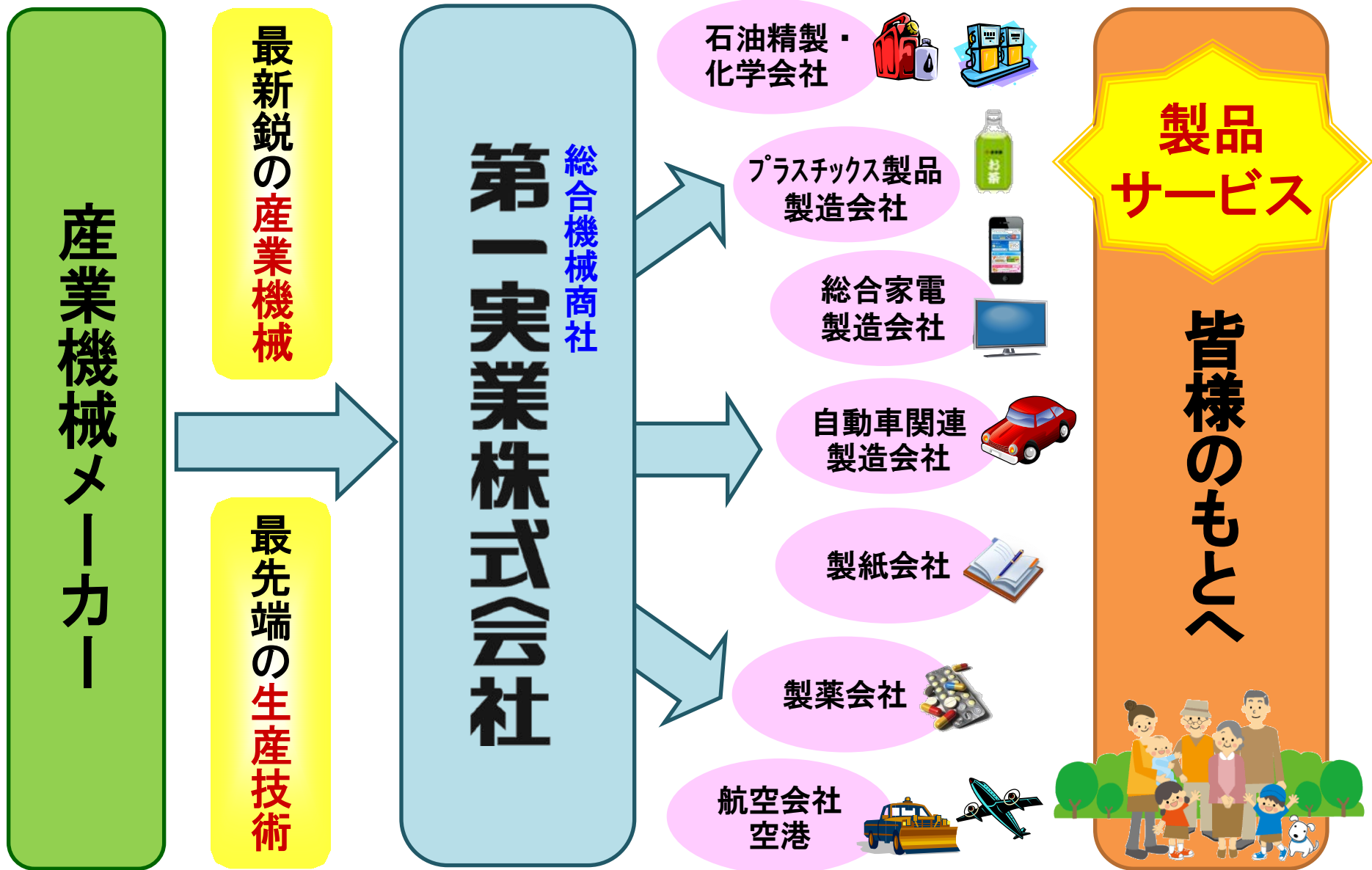
国内:9社 海外:20社 合計:29社

事業所

国内:6拠点 海外:37拠点 サービス研究センター:1拠点



本社



エンジニアリング

コーディネート

情報力

スピード

現場対応力

メーカーA社
機械設備

メーカーB社
工場設備

メーカーC社
周辺機器

(株)DJTECH
第一実業ビスウィル(株)
第一エンジニアリング(株)
機械設備

(株)第一メカテック
メンテナンス

DJK
＜総合機械商社＞

生産性向上

不良率低減

省人

省エネ

環境対応

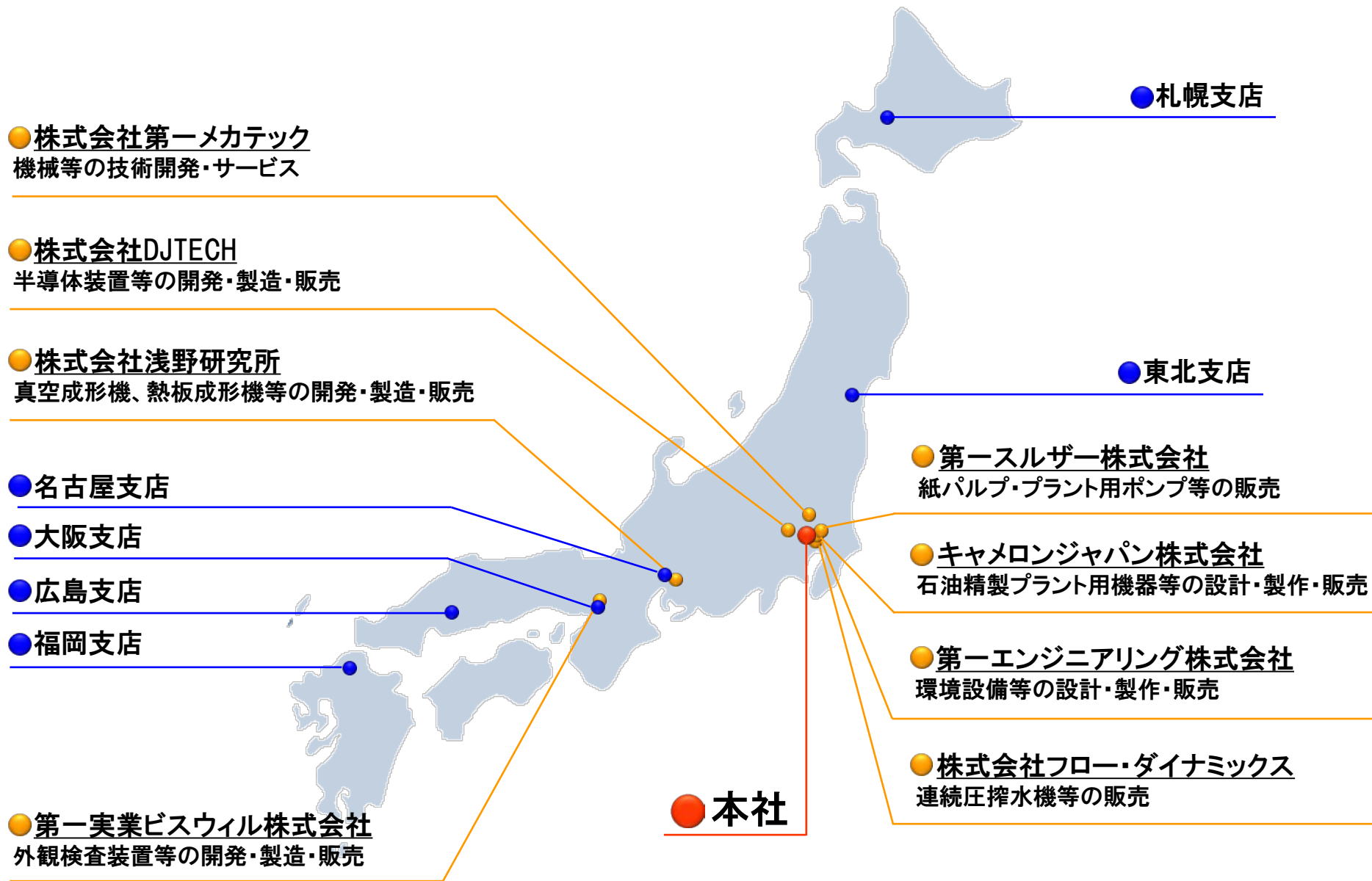
低コスト

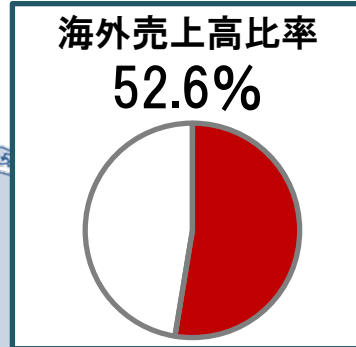
定期点検

緊急対応

お客様の
利益に貢献する
グローバル・
ビジネス・
パートナー

豊富なノウハウと国内外ネットワーク





米州

- シカゴ
- ヒューストン
- ノックスビル
- プエルトリコ
- ケレタロ

- ティファナ
- モンテレイ
- サンパウロ
- マナウス

中国

- 上海
- 天津
- 蘇州
- 広州
- 重慶
- 深セン
- 長春
- 武漢
- 常州
- 香港

東南アジア・インド

- シンガポール
- ブキッ・ティマ
- クアラルンプール
- ピンツル
- バンコク
- ジャカルタ
- ホーチミン
- ハノイ
- マニラ
- ラグナ

- ニューデリー
- バンガロール
- 台北
- ソウル
- ドーハ

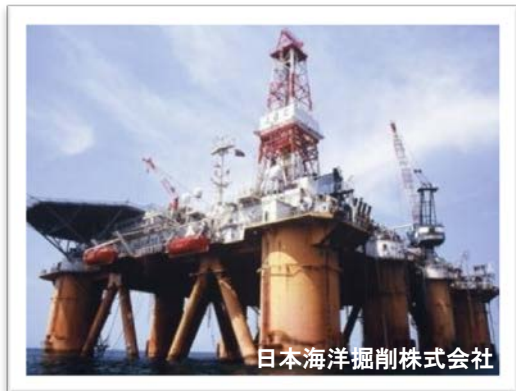
欧州

- フランクフルト
- プラハ
- ブダペスト

2. 事業展開

DJKの5つの事業

プラント・エネルギー事業



産業機械事業



エレクトロニクス事業



ファーマ事業



航空事業



エネルギー開発、各種プラント設備を取り扱っており、近年は再生可能エネルギーなどの新しいテーマにも積極的に取り組んでおります。

海外 各種プラント設備



原料から製品になるまでの石油、ガス、化学、肥料など様々なプラント設備を取り扱っているほか、エンジニアリング、メンテナンスも行っております。

メタンハイドレート



新エネルギーとして注目されているメタンハイドレートを掘削するための各種機器を取り扱っており、開発に関わるサポートを行っております。

国内 メガソーラー



茨城県笠間市に太陽光発電所を竣工し、2013年3月より売電事業を開始いたしました。さらなる設置拡大を図っております。

バイナリー発電



焼却施設で発生する排熱を再利用し発電する、小型のバイナリー発電装置を取り扱っており、再生可能エネルギーの創出に貢献しております。

プラスチック成形機、自動組立機、塗装機などを中心に取り扱っており、自動車関連業界や食品関連業界などの幅広い分野へ設備を提供しております。

自動車/二輪



自動車や二輪を製造するための各種装置や製造ライン設備を取り扱っており、世界各地での生産を下支えしております。

食品トレイ



プラスチック製のトレイや容器などは小型の成形機で製造されており、用途に応じて様々な付帯設備も提供しております。

家電



家電を製造するための各種装置や製造ライン設備を取り扱っており、世界各地での生産を下支えしております。

リチウムイオンバッテリー(LIB)



当社が開発した装置です

スマートフォン、タブレット端末などに使用されているLIBを製造するための各種装置を取り扱っております。

電子部品実装装置や半導体・液晶モジュール組立装置などを取り扱っており、世界各地の実装工場に多数の納入実績がございます。



電子基板を製造するための電子部品実装装置やその周辺機器、液晶パネルの製造装置などを取り扱っており、実装プロセスの最適提案からアフターサービスまでのトータルコーディネートを行っております。

***世界のSMT(表面実装技術)
市場における当社のシェア=約7%**

→目標10%



最終製品



*当社が調査した2010~2012年度実績の平均値です。

医薬品業界向けの各種開発、製造、検査装置を販売しております。また、医療用器具の製造装置も取り扱っております。

医薬品



錠剤外観検査機や充填装置などの各種装置を取り扱っており、安全・安心な医薬品の製造を支えています。

輸液バッグ



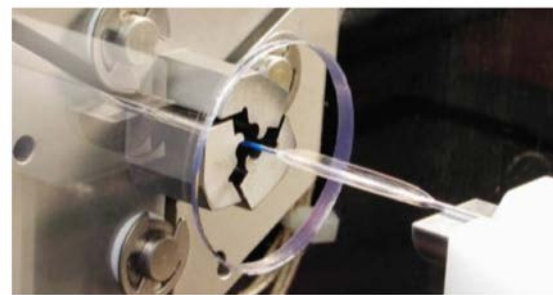
点滴などの薬剤投与に使用される輸液バッグの製造装置を取り扱っております。

再生医療製品



再生医療、バイオ医薬品研究のためのES/iPS細胞の培養装置を取り扱っております。

カテーテル



高度医療器具のひとつであるカテーテルの製造装置を取り扱っております。

航空機地上支援機材や空港施設向けの各種機器を取り扱っており、国内各地の空港に数多くの納入実績がございます。

デアイサー



溶剤を散布して航空機の機体に付着する氷雪を防止・除去する車両です。

トーイングトラクター



航空機を搭乗橋や駐機場などに牽引する車両です。

空港用化学消防車



航空機事故等に備え、各地の空港に配備されている特殊車両です。

スノーパー除雪車



寒冷地にて滑走路の除雪を行う車両です。

3. 業績

(百万円)

	13/3 実績	14/3 見通し	増減
受注高	125,662	135,000	+9,338
売上高	128,229	130,000	+1,771
営業利益	4,590	4,600	+10
経常利益	4,925	4,800	△125
当期純利益	3,051	3,000	△51
1株当たり当期純利益	57.97円	56.73円	△1.24

業績の推移



経済

★ 金融ビッグバン

★ ITバブル崩壊

★ 中国GDP イタリアを抜き6位

★ 原油価格高騰

★ リーマン・ショック発生

★ スマートフォン普及加速

その他

★ アメリカ同時多発テロ発生

★ 東日本大震災発生

(百万円)

(百万円)

150,000

12,000

100,000

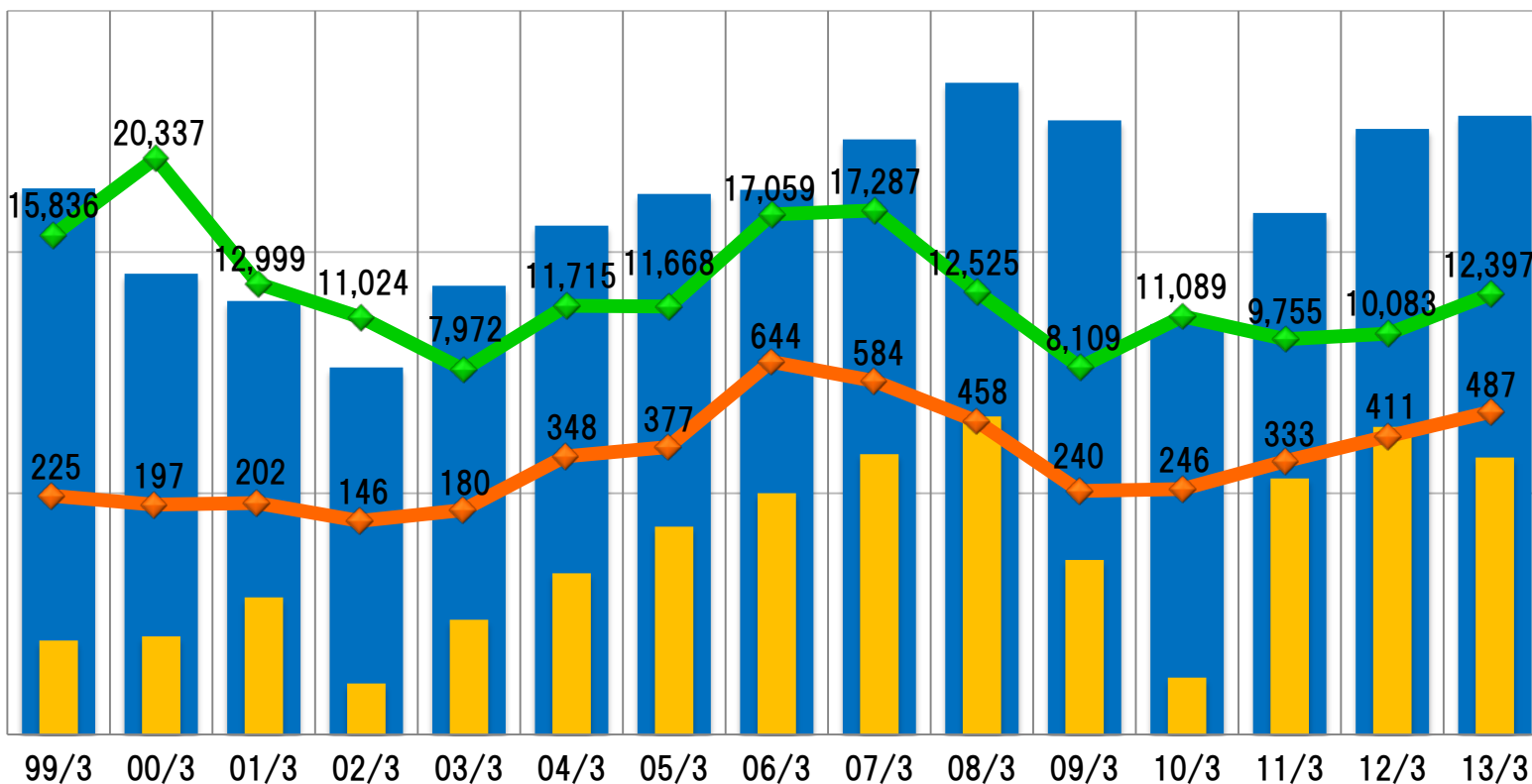
8,000

50,000

4,000

0

0



AIM2015

Aggressive Innovation for Multi-functional Global Business
多機能性を持ったグローバルビジネスへの積極的革新！



多機能性を持ったグローバルビジネスへの積極的革新！

定量目標（連結経営目標）

	13/3 実績値	16/3 目標値
売上高	128,229	155,000
営業利益	4,590	5,700
経常利益	4,925	5,900
当期純利益	3,051	3,700
総資産	81,478	92,000
自己資本	28,861	36,000
有利子負債	7,486	8,000
ROE (%)	11.2	10.7



定性目標（基本方針の内容）

I. 事業軸経営への移行によるビジネスの拡大

- ① グローバルなビジネスを徹底捕捉
- ② 広範囲な営業力とエンジニアリング集団としての強み、高付加価値の創造

II. 事業軸経営への移行と経営強化・効率化の推進

- ① 事業軸経営システムの整備・転換
- ② 意識改革および人財の育成
- ③ 財務体質の更なる強化

配当金および配当性向の推移

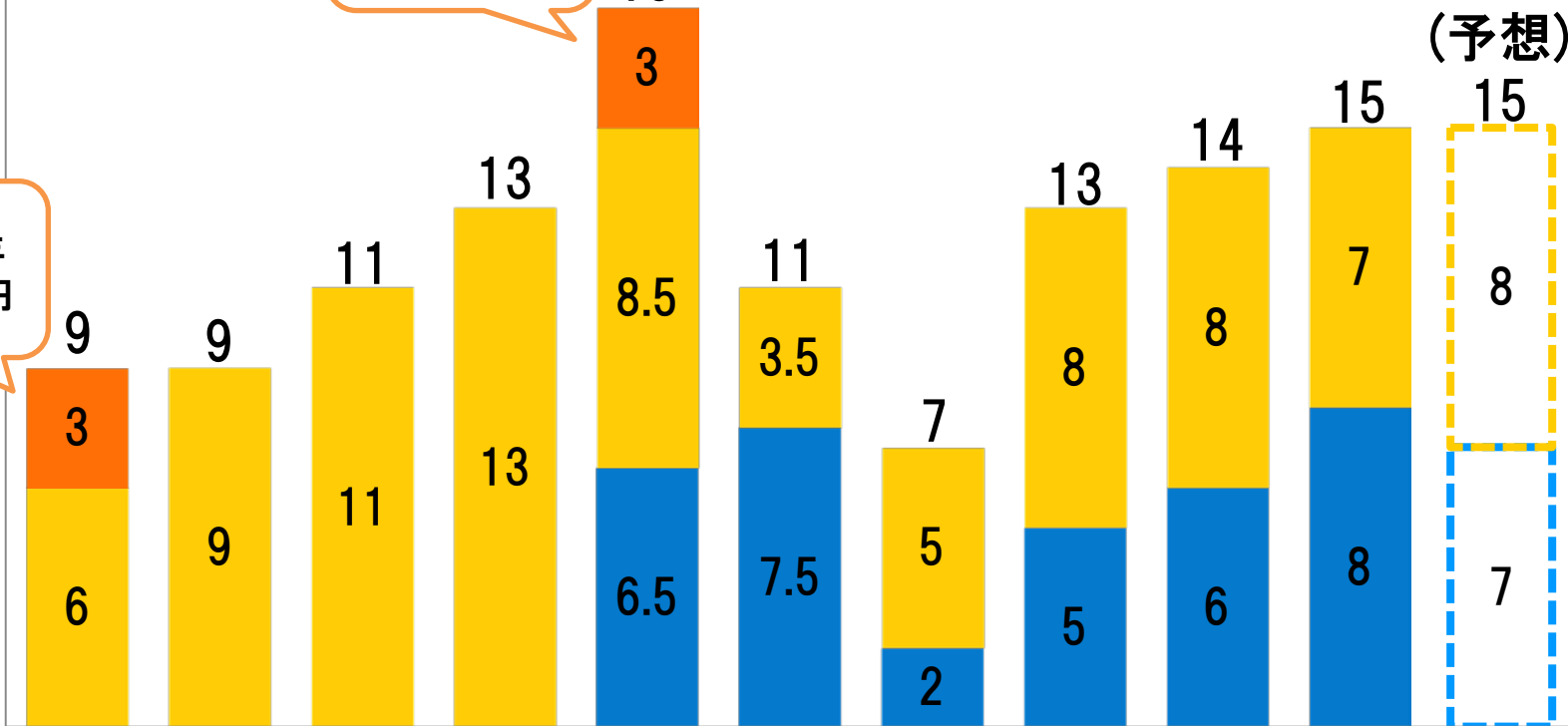


■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 記念配当

(円)

創立55周年
記念配当3円

創立60周年
記念配当3円



	04/3	05/3	06/3	07/3	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3
配当性向: 単体(%)	102.4	46.1	31.7	35.5	35.2	42.2	39.7	37.7	42.2	48.3	37.8 (予想)

創業の精神



DJKの歩み



セグメント別 売上高



海外売上高



各種指標の推移



CSRへの取り組み

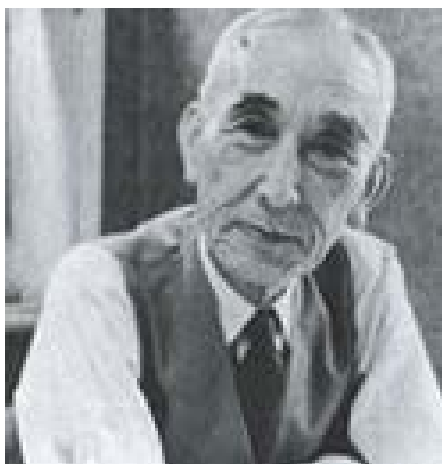


コーポレート・ ガバナンス

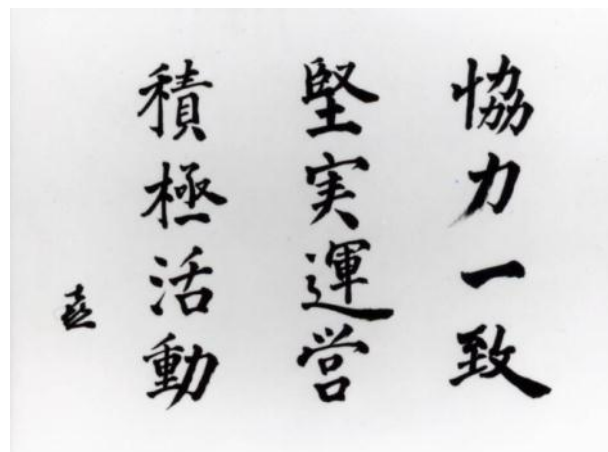


投資家の皆様に対する 行動規範





初代社長 倉持正次郎



創業後に制定された社是三原則。創立64年を過ぎた現在もなお企業風土に脈々と受け継がれております。

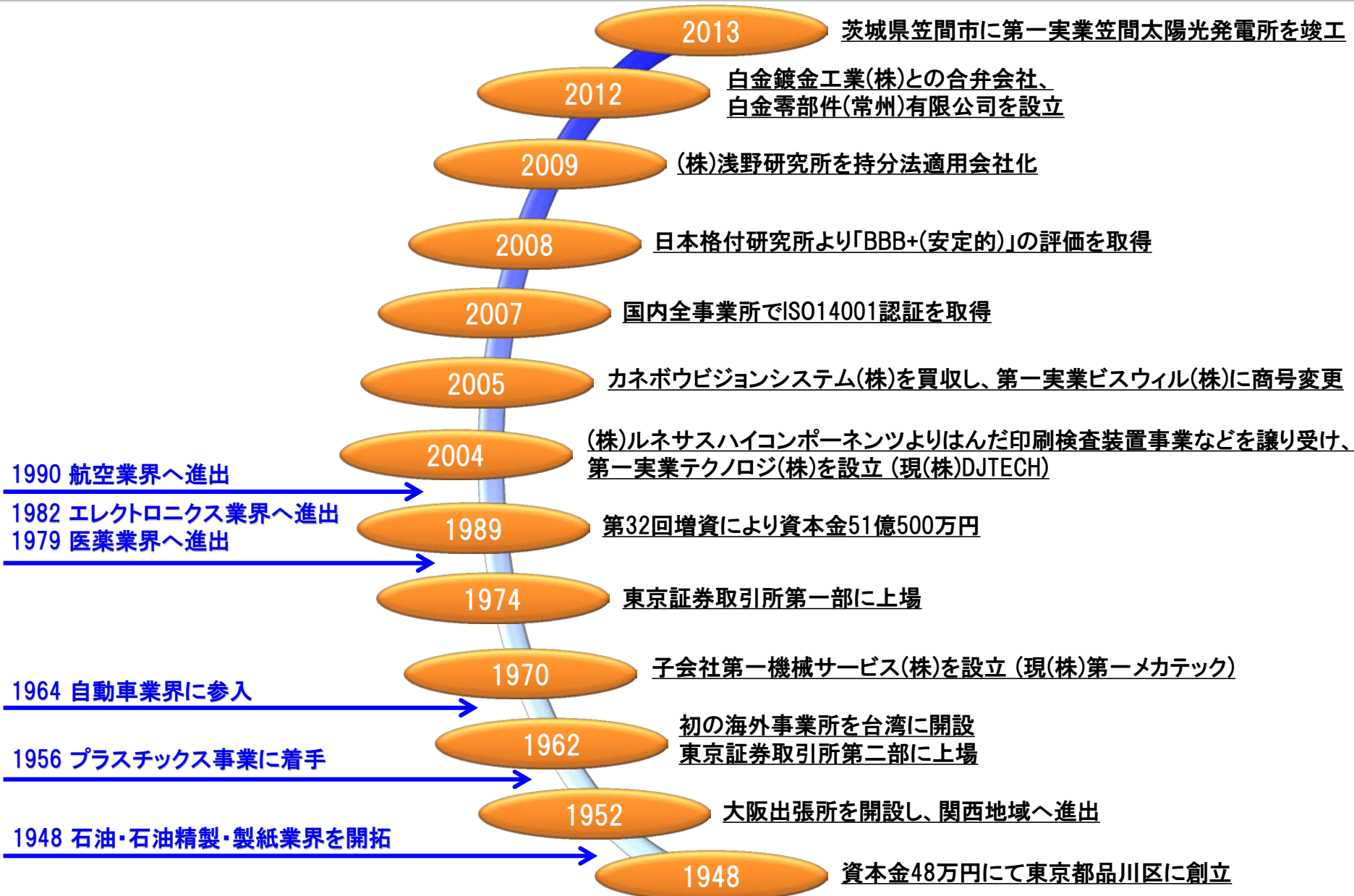
第二次世界大戦終結後、さまざまな産業分野を独占していた財閥が解体され、市場に競争原理が導入されました。このとき解体された「浅野財閥」に関わる人材の中から、後の第一実業株式会社の創業メンバーが輩出されました。

1948年(昭和23年)8月12日、後に初代社長となる倉持正次郎を含む全7名を発起人として会社を設立。商号を「**第一実業**」と定め「**機械専門の商事会社**」としての一步を踏み出しました。

倉持は、当時横行していた闇取引を一切認めず、下記のことを徹底いたしました。

1. 機械の売り買いのみに徹する
2. 大企業・一流企業を取引相手とする
3. 銀行との信頼関係を大切にする

投機性のない商売を地道に続け、信頼できる相手を選び、毎月銀行に業績報告し続けた結果、当社は**誠実で堅実な企業**として周囲の信頼を獲得し、着実に成長してまいりました。このような精神は、現在の当社に深く根付いております。



セグメント別売上高(連結)



海外法人

世界4軸体制を構成する海外現地法人は、当社が国内で取り扱っている各種機械・機器の販売を行っているほか、それぞれのエリアでの直接仕入・販売も行っております。



産業機械事業

産業機械事業では、自動車関連業界・食品関連業界向けに射出成形機・押出成形機・真空成形機・塗装機器等、医薬品関連業界向けに錠剤検査機器等、航空関連業界向けに航空機用デアイサー・トーイングトラクター・除雪車等、二次電池関連業界向けに焼成炉等を取り扱っております。



プラント・エネルギー事業

プラント・エネルギー事業では、エネルギー開発分野(陸上・海上用物理探鉱機器・解析ソフトウェア、陸上・海上用掘削リグ等)、生産・精製分野(石油ガス・地熱生産地上システム、風力・太陽光発電、石油精製プラント、石油化学プラント、エンジニアリング等)、製紙分野(製紙プラント等)に関連する機器・設備を取り扱っております。

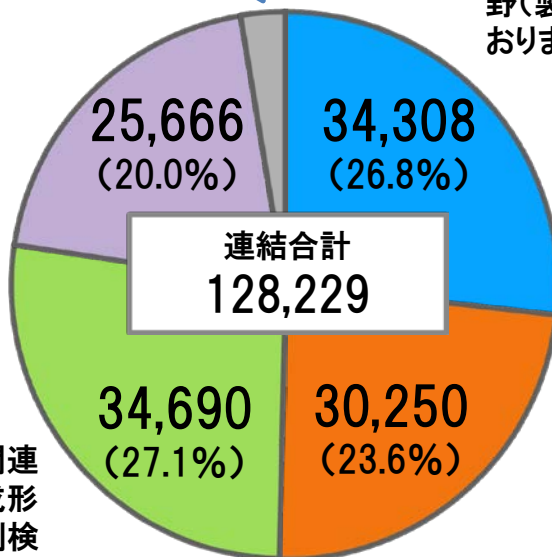


エレクトロニクス事業

エレクトロニクス事業では、電子部品実装装置(SMT)をはじめとする半導体・液晶モジュール組立関連装置、各種検査機器、周辺機器等を取り扱っております。



その他の事業
3,314
(2.5%)

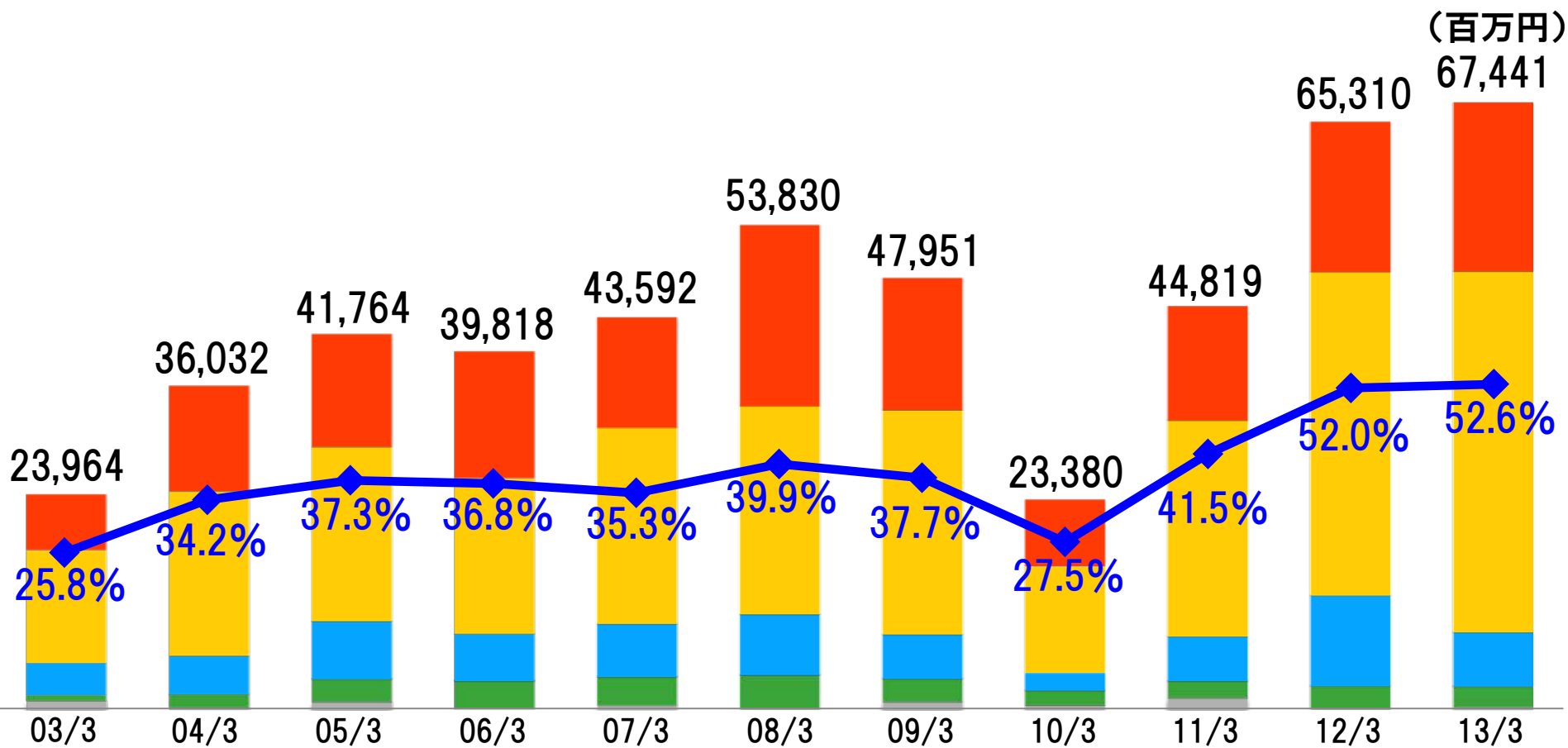


2013年3月期実績
単位:百万円

海外売上高(連結)



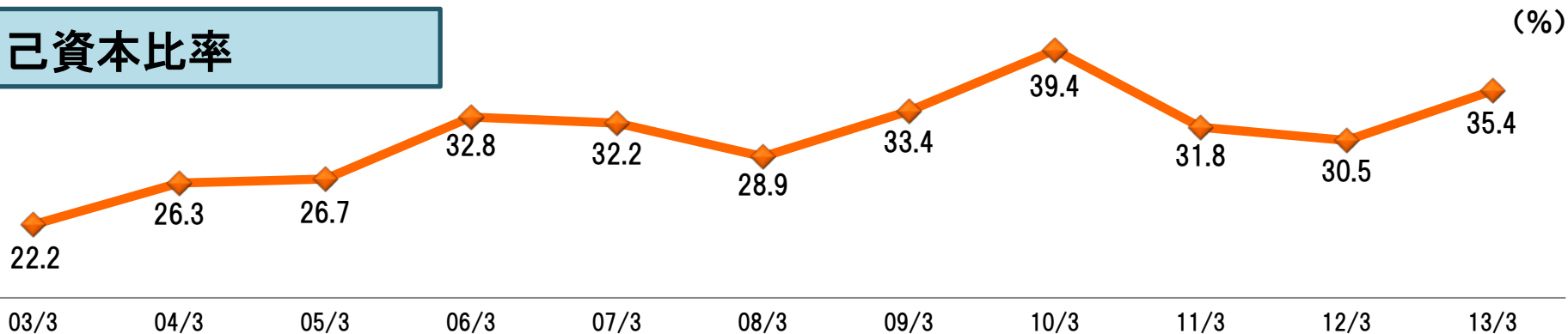
世界18ヵ国37拠点で活動している当社グループは、お客様の海外進出をサポートしております。2013年3月期は、過去最高の海外売上高を計上いたしました。



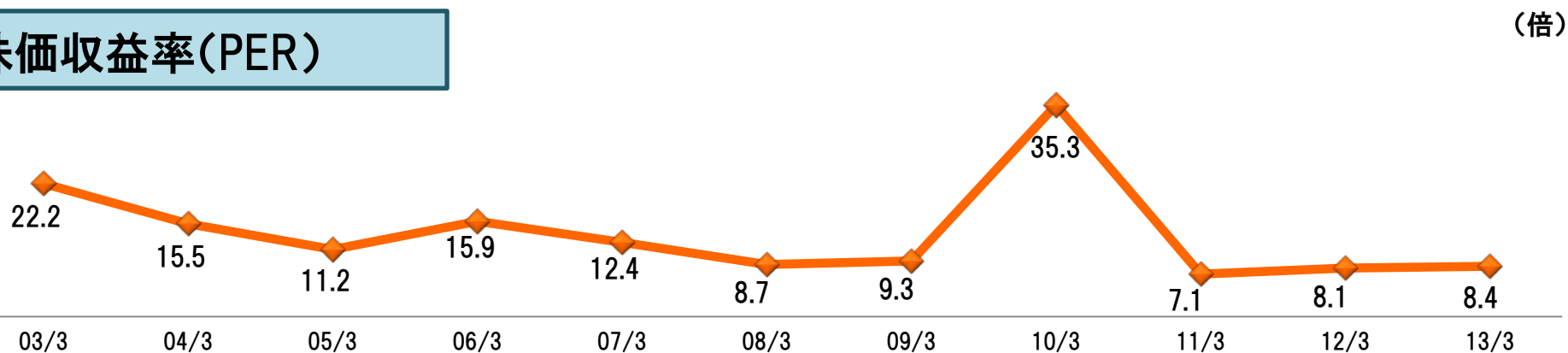
各種指標の推移(連結)



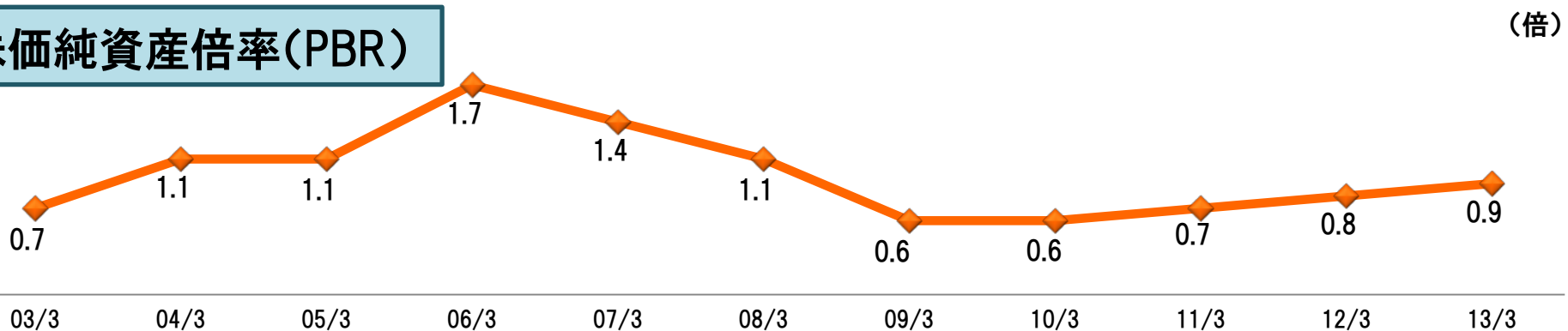
自己資本比率



株価収益率(PER)



株価純資産倍率(PBR)



当社グループは世界に通用する優良企業を目指して社会的責任の役割を果たし、ステークホルダーの皆様とともに持続的な社会の実現をまいります。

安全で良質な商品・サービスの提供による顧客満足度の向上

コーポレートガバナンスの充実および内部統制システムの整備・強化

環境配慮商品の積極的拡販

株主価値の向上

ステークホルダー等に対する積極的情報開示

地域社会活動の貢献

未来のエンジニアを育成



当社は総合機械商社として、子供たちに“ものづくり”の楽しさを伝えるため、ロボット教室、ロボットコンテストへの協賛を行っております。未来の“ものづくり”を担う子供たちが科学技術を身近に体験しながら、創造性と問題解決力を育成できる活動の場となるよう支援してまいります。

日本赤十字社への寄付

国内外の災害地域への義捐金の拠出

ユニセフへの外国コイン募金活動

エコキャップ活動

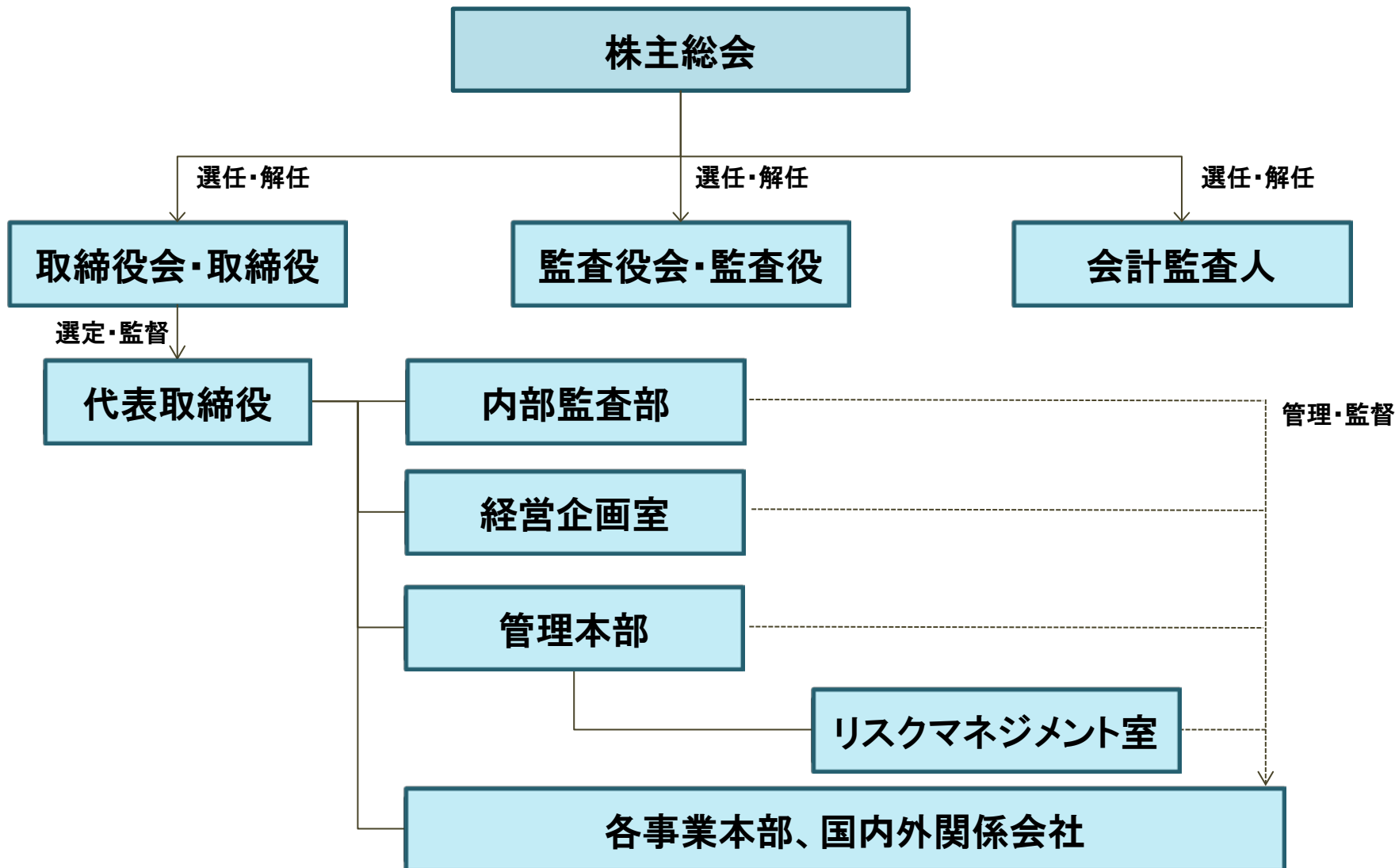
近隣小学校へのニュース掲示板の寄贈 など

ナショナルスタッフへの研修



企業のグローバル展開が進む中、当社グループでは延べ1,000名を超える社員が世界各地で働いております。海外のナショナルスタッフに対し、定期的に当社の企業理念や経営方針をテーマとした研修を行うことにより、企業文化の浸透や海外事業の強化を図ってまいります。

当社グループは、グローバル競争に勝ち抜く企業力強化を図る観点から、経営判断の明確化かつ迅速化を推進すると同時に経営の透明化のために経営チェック機能の充実を重要課題の一つとして位置づけております。



ディスクロージャー

役職員は投資家の皆様に対し、投資判断に関わる重要な情報を正確にお伝えしてまいります。それらの情報の多くは、投資家の皆様が理解しやすい形で公表いたします。

投資家とのコミュニケーション

投資家の皆様には、私たちが「利益と倫理が相反する場合、倫理を選択すること」を確認し、それが結果として会社の利益になることをお伝えしてまいります。

正確な記録

ディスクロージャーの前提は、正確な記録です。ビジネスに関するあらゆる情報は、法令・ルールに従い、正しく記録いたします。

内部監査の重視

当社は、投資家の皆様の利益を守るため、中立的な観点からビジネスのあり方をチェックする内部監査システムを整備し機能させてまいります。

資料中の詳細情報および最新情報などについては、当社ホームページに掲載しております。ぜひご覧ください。

第一実業株式会社ホームページ

<http://www.djk.co.jp/>



第一実業

検索

ご不明な点、ご質問などがございましたら、下記へお問い合わせください。

I R・広報部 TEL : 03-5214-8611

